

## やまなし県有林活用温暖化対策プロジェクト

### プロジェクトの目的・活用

- 適切な森林施業を実施し、森林吸収源としての機能を強化することで、二酸化炭素吸収量を増大させます。
- プロジェクトにより創出されたクレジットを活用し、環境の保全や、生物多様性の確保に配慮した持続可能な森林経営を推進します。

### 当プロジェクトのカーボン・オフセットの特徴・仕組（メリット）

国際的な基準に従って適切に管理されていることをFSC<sup>®</sup>森林管理認証として認められた「やまなし県有林」において、その管理経営の一環として創出されるクレジットは、CO<sub>2</sub>排出量のオフセットだけでなく、環境保全や生物多様性などのイメージを活用し、商品・サービス等に、より発信力のある付加価値をつけることができます。



## やまなし県有林で取得したオフセット・クレジット (J-VER)

### プロジェクトの種類

森林経営活動によるCO<sub>2</sub>吸収量の増大（間伐促進型プロジェクト）

### 対象森林

2007～2009年度にかけて、間伐を実施した約2,900haのカラマツ、ヒノキなどの人工林

### 吸収量

- 対象：対象森林における2008～2012年度のCO<sub>2</sub>吸収量
- クレジット：25,383 t-CO<sub>2</sub>
- 発行量（対象森林においてモニタリング検証済みの2008.4～2010.12の吸収量）

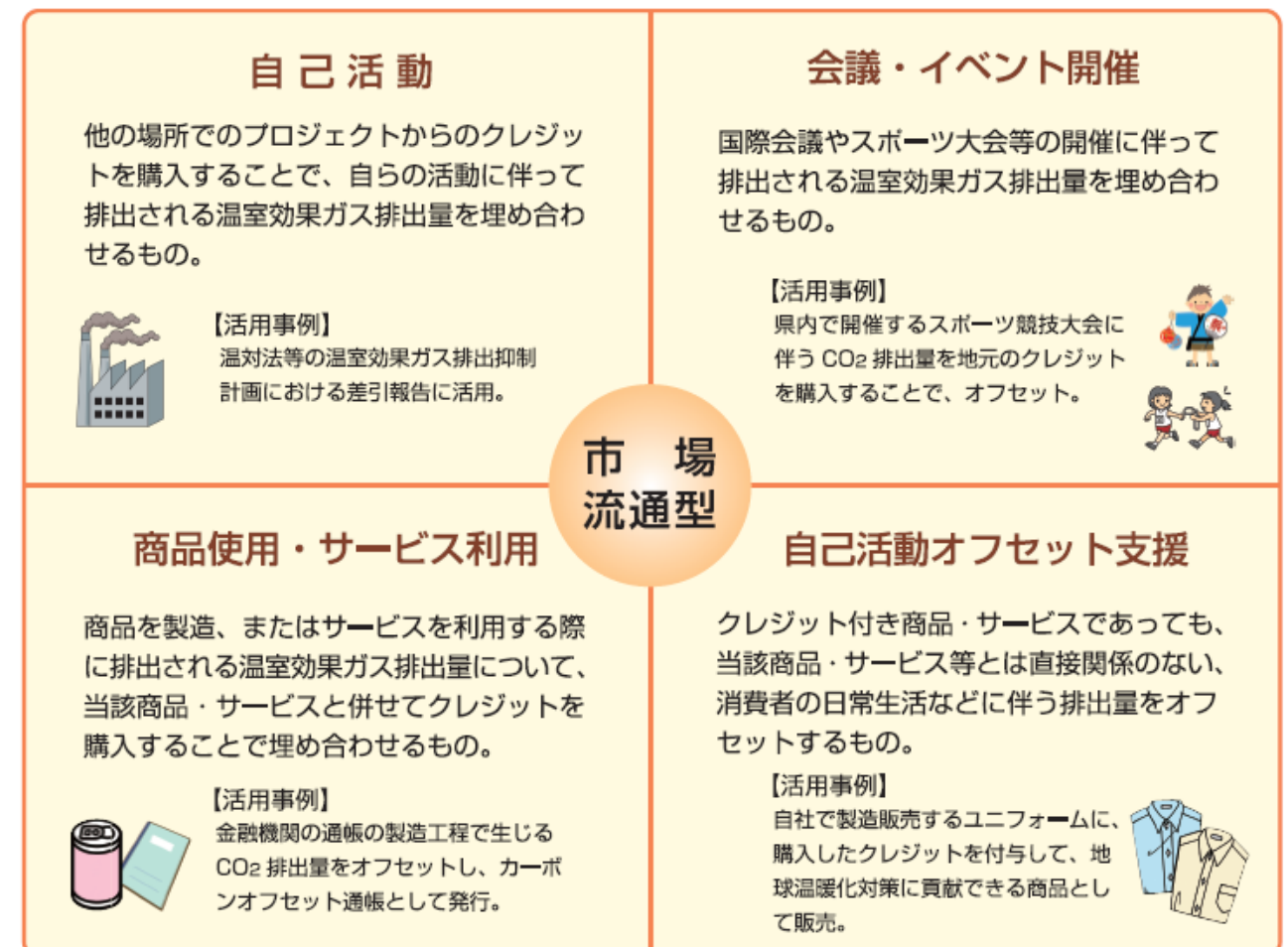
### クレジットの特徴

- 国際的な森林認証制度である「FSC森林管理認証」に基づき、全国ではじめて発行されたオフセット・クレジット（J-VER）
- これまでのプロジェクトの中で最大のクレジット発行量

※2013年1月末現在

## カーボン・オフセットの具体的な事例

環境省の指針により、市場を通じて第三者に流通するクレジットを活用したカーボン・オフセットは、以下の4種類に区分されます。



## カーボン・オフセットとは？

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動で避けることができないCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出について、どうしても削減できない量の全部または一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）することを言います。



## オフセット・クレジット (J-VER) とは？

環境省のオフセット・クレジット (J-VER) 制度に基づいて発行される、国内における自主的な温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトから生じた排出削減・吸収量を指します。信頼性の高いクレジットとして、カーボン・オフセットに用いることができます。